

5. OB・OGの作品群



米沢嘉博氏



日本の漫画評論家、大衆文化評論家、編集者、コミックマーケット準備会の第2代代表である。有限会社コミケット取締役社長、日本マンガ学会理事、手塚治虫文化賞選考委員、日本オタク大賞審査員なども務めた。「おたく四天王」の一人に挙げられる。

著作、受賞履歴は次のページに示す。

ここではSF研時代の彼の人物像を「エスエフ」の会員紹介より転載する。

1974.3 『エスエフ』no.23

米沢嘉博(涉外)工-3

漫画のことなら、知らないことは一つもないと云うマンガの虫。又、女性でも敵わないと云う程の料理人、MSFCでは右に出る者は居ないであろう。

とにかく本の山の中で、料理を作る姿は絵になっている。

5月には下宿を追い出されるという。悲しい星のもとに生まれた生田随一のSF狂。

1976.5 『エスエフ』

米沢嘉博(涉外)工-5

既に信仰の対象に迄なっている、天然記念物的存在。

年に数回部室に現れ、温かい微笑みを浮かべて帰って行く。

当分は在学していらっしゃる見込み。

ちなみに、1979年まで8年間大学に籍を置いていた。





『戦後少女マンガ史』新評社、1980年1月、ちくま文庫、2007年8月8日
『戦後SFマンガ史』新評社、1980年8月、ちくま文庫、2008年8月6日
『戦後ギャグマンガ史』新評社、1981年、ちくま文庫、2009年8月10日
『マンガ批評宣言』亜紀書房、1987年2月
『アメリカB級グッズ道』晶文社 1999年12月
『藤子不二雄論 FとAの方程式』河出書房新社、2002年4月、河出文庫、2014年3月
『戦後野球マンガ史 手塚治虫のいない風景』平凡社・平凡社新書、2002年9月
『マンガで読む「涙」の構造』日本放送出版協会・生活人新書、2004年2月
『売れるマンガ、記憶に残るマンガ』メディアファクトリー、2007年2月
『手塚治虫マンガ論』河出書房新社 2007年7月
『戦後エロマンガ史』青林工藝舎、2010年4月23日
『戦後怪奇マンガ史』赤田祐一編集、鉄人社、2016年7月

受賞等

第21回(1999年度)日本出版学会賞:別冊太陽『発禁本—明治・大正・昭和・平成』(平凡社)
第26回(2002年)日本児童文学学会賞:『藤子不二雄論—Fと(A)の方程式』(河出書房新社)
第38回(2007年)星雲賞特別部門
第14回(2010年)手塚治虫文化賞特別賞:マンガ研究の基礎資料の収集と評論活動などの幅広い業績に対して
第24回(2011年)大衆文学研究賞(早乙女貢基金)大衆文化部門:『戦後エロマンガ史』(青林工藝舎)



OB・OGの作品群



■中島 久

(1973年入学・法学部、中小企業診断士、日本証券アナリスト協会 認定アナリスト、元大学非常勤講師)

【著書】

「「売れる仕組み」のつくり方 マーケティングはおもしろい！ 新版」

「バンカーズストーリー ―信用金庫はおもしろい！」

「入門！企業分析の手法と考え方―財務分析と定性分析による」

「キーワードで学ぶ企業分析」

「融資審査と定性分析―新時代の融資審査ノウハウ「マーケティング分析」を平易に解説」

など。

■榊 政信

(1973年入学・工学部入学、一級建築士・元倶知安町議会総務常任委員長)

【受賞】

「北方型住宅」奨励賞

「議会に風穴をあけたやつら、その後」で紹介される。





■山本繁樹

(1973年入学・法学部、「Web評論コーラ」発行人・編集長)

【論考】

「吉本隆明『最期の親鸞』を読む」

「中江兆民『三酔人経綸問答』を読む」

「斎藤純一「政治的責任の二つの位相－集合的責任と普遍的責任」を読む」

など数々。

■近藤良英

(1974年入学・文学部、映画プロデューサー)

「ひみつのなっちゃん。」(主演・滝藤賢一)2023年1月13日公開

「ヒキタさん！ ご懐妊ですよ」(主演・松重豊、北川景子)

「オケ老人！」(主演・杏)

「南極料理人」(主演・堺雅人) ※2009年度新藤兼人賞金賞を受賞

「祝辞」(主演・財津一郎) ※第10回日本アカデミー賞 助演男優賞受賞(植木等)

劇場用アニメ「機動戦士ガンダム」三部作 ※宣伝プロデューサー

など数々。





■大沼弘幸

(1976年入学・文学部、作家)

【小説】

「ハード・リベンジ、ミリー—復讐の序曲」

「桃太郎電鉄 怪獣編—キングボンビーの逆襲」

「フリーダム探偵局」

「BRAVE FENCER 武蔵伝—ガンリュー島の決闘!の巻」

「BRAVE FENCER 武蔵伝—レイガンドの剣の巻」

など数々。

【ラジオ】

「アニメキングダム」(東海ラジオ)

■天野正之

(1976年・経営学部入学、書道家)

「毎日書道展審査会員」





■菊島恵三

(1977年入学・文学部、編集者・ライター)

【著書】

「超SF映画」(奇想天外社・共同執筆)

「ゲームブック入門大百科」(ケイブンシャ大百科シリーズ)

「大戦略IV ハンドブック」(BNNゲームハンドブックシリーズ)

「SimCity2000」(ゲームコンパニオンシリーズ)

「もっと知りたいINIT/Cdev」(Macintoshグルメブックシリーズ)

講談社「月刊現代」元取材記者

映画雑誌「パノラマシティ」元副編集長

PCゲーム「現代大戦略」シリーズ シナリオ制作

など数々。

■木内明彦

(1977年入学・文学部、1982年学士入学・農学部、家具作家・造形家、東京造形大学非常勤講師)

【照明・家具作品にて】

「2002年 第20回朝日現代クラフト展 優秀賞」朝日新聞主催

「2002年 第3回暮らしの中の木の椅子展 最優秀賞」朝日新聞主催





■園田英樹

(1978年入学・政経学部、脚本家・演出家・インプロ・劇団帰燕風人舎主宰・鳥栖市立図書館名誉館長)

【著書】

「絶対無敵ライジンオー—五次元帝国の逆襲」

「破壊の繭とディアンシー—Pokemon the movie XY」

「劇場版ポケットモンスターベストウイッシュ 神速のゲノセクト ミュウツー覚醒」

「劇場版ポケットモンスターベストウイッシュ キュレムVS聖剣士ケルディオ」

「ビクティニと白き英雄レシラム—劇場版ポケットモンスターベストウイッシュ」

など、数々。

■齋木徹志

(1978年入学・政経学部)

【著書】

「～大人の常識トレーニング～ふりがなをつけながら読む 東京文学散歩」

(彩流社編集部、齋木徹志 共同編集)

